



南条つ子

南条つ子は 進んで学ぶ子

思いやりのある子

かっぱいやりぬく子

目標 ともに学び 豊かな心で未来を切り拓く子の育成

南条小学校だより

R3.6.10 No.16



○ 全校集会 (2回に分けて)

5月31日(月)は2・4・6年生、6月7日(月)は1・3・5年生を体育館に集めて、久しぶりに集会を行いました。昨年は児童に教室にいてもらい、放送を聴くという形で行っていたため、半分の人数とは言え、児童の顔を見ながら話すことができる貴重な機会となりました。

今回は、5月29日(土)に行われた南越前町での聖火リレーで使用したトーチを、各学年の代表(集会の日に誕生日が近い児童)に実際に持ってもらいました。低学年の児童には、さすがに重かったようですが、「良い誕生日プレゼントになった。」と喜んでもらえました。その後、聖火ランナーを務めた息子の継続した取組について話をしました。目標を立て、それに向かって努力を続けることの大切さについて、感じ取ってもらえたら幸いです。

○ 生活科 (2年生)

6月8日(火)、2年生の生活科の時間に、野菜の育て方について勉強しました。今回の先生は児童のお母さんで、「ピーマン」「ナス」「オクラ」「ミニトマト」の育て方について、クイズを入れながら、とても分かりやすく丁寧に教えてくださいました。それぞれの野菜に合った水やりの仕方など、教えてもらったことをしっかり守り、おいしい野菜がたくさん収穫できるように、これからもしっかり世話をしてください。



○ 「時の記念日」(6月10日)

1920年(大正9年)、東京天文台(現在の国立天文台)と生活改善同盟会によって、「時間をきちんと守り、欧米並みに生活の改善・合理化を図ろう」と呼びかけられ、国民に時間を大切にすることを広めるために、「時の記念日」が制定されました。

671年に天智天皇が唐(中国)から伝えられたという漏刻(水時計)を建造し、その漏刻で「時の奏」(太鼓や鐘を打って時を知らせる)を行いました。水時計は、容器に水が流れるようになっており、水面の高さの変化によって、時間を計測する仕組みになっています。『日本書紀』には、「漏刻を新しき台に置く。初めて候時を打つ。鐘鼓を動かす。」と記されています。「時の記念日」が6月10日になったのは、この日が現在の6月10日(旧4月25日)だったからです。※天智天皇=中大兄皇子、645年、中臣鎌足らと蘇我氏を討ち、大化の改新を行う。

「Time is money.」という英語から来ている「時は金なり」という諺があります。「時間はお金と同様に貴重なものだから、決して無駄にしてはいけない」というような意味です。時間をどのように使うか(有効に使うか、無駄に使うか)は人それぞれですが、失った時間は二度と戻って来ません。

これを機に、親子で時間の大切さについて話し合ってみてはいかがでしょうか?

○ 第8回「白川静漢字教育賞」作品募集のお知らせ

今年度から、小学生も対象とした作品を募集していますので、お知らせします。

- 1 対象 <小・中学生の部> 小学校4～6年生 中学校1～3年生

【漢字川柳部門】漢字の成り立ちに関する川柳

【漢字作文部門】漢字にちなんだ自由作文(400字まで)

【自由部門】白川静博士や漢字をテーマにしたもの

- 2 応募方法

【漢字川柳部門】応募用紙(様式3)

【漢字作文部門】(1)応募用紙(様式3)

(2)作文(400字まで)

【自由部門】(1)応募用紙(様式3)

(2)作品等

(3) (2)の解説

※福井県のホームページからダウンロードできます。

- 3 応募締切 令和3年9月17日(金)

- 4 表彰 優秀賞 副賞:図書カード3000円

【校長の思い出】

私自身、2009年～2012年の4年間、教職を離れ、県教育委員会で「白川文字学」を担当し、一般対象に講師を招いて講座を開いたり、小学生対象に漢字ゲームやクイズを作って漢字あそび大会を行ったりするなどして、普及に努めていたことがありました。

「白川文字学」や漢字のことについては分からないことばかりでしたが、古代文字(甲骨文字など)の形や漢字の成り立ちについて興味や関心を持ち、勉強するきっかけになりました。この4年間に経験したことや数々の出会いは、自分の人生の貴重な財産になっています。

